

研究ノート

大学生の性とジェンダー平等をとりまく現状

森岡 真梨

1. はじめに

本稿は日本学術振興会科学研究費 基盤研究(B)、課題番号 25285221「<性>に関する教育の内容構成・教育課程とジェンダー平等意識・セクシュアリティ形成」の第4課題：第6世代への量的調査の基礎分析である。

本プロジェクトでは、学習指導要領の変遷に従い、1940～1996年度生まれまでを6つの世代に分けた。第一世代(1940～1946年度生まれ)、第二世代(1947～1956年度生まれ)、第三世代(1957～1965年度生まれ)、第四世代(1966～1977年度生まれ)、第五世代(1978～1986年度生まれ)を対象としたジェンダー平等意識に関わる調査は、橋本・茂木ら¹が行っており、性・セクシュアリティに関わる調査についても続報が待たれる。

本稿では、その更に下の世代である第六世代(1987～1996年度生まれ)を対象に行った量的調査の基礎的分析から得られた知見を示す。

2. 方法

2.1 調査対象

前述したように第六世代の男女を調査対象とした。調査を行った第六世代は調査を行った2014年度に年齢が17～27歳の世代である。第六世代の多くは高校～大学生であるが、本調査は性・セクシュアリティに関する項目を多く含むため、高校生への調査が困難であったため、大学生を主な対象とした。

¹ 橋本・茂木・井上・森岡・良(2013) 男女共学制が戦後の日本人のジェンダー平等意識に与えた影響に関する調査研究. 教育学研究室紀要 ―<教育とジェンダー>研究― 第10号. 27-51.

2.2 質問紙の構成

この調査ではほとんどの項目について、高校時代のことを振り返って回答するよう依頼した。調査に使用した質問紙の構成は以下のとおりである。

問1では高校生活の経験について、教員や周囲から性役割に沿った行動をとるよう指導があったかどうかを「1. 全くなかった」から「4. 非常によくあった」までの4件法で聞いた。

問2では高校時代に学んだことについて、性役割や性的少数者について、また交際や性について公に学ぶ機会があったかどうかを「1. 全くなかった」から「4. 非常によくあった」までの4件法で聞いた。

問3では、恋人との交際についてどのように考えていたか、回答者の周囲で恋人がいるというのはどのくらい普通のことであったかを「1. 全く普通のことではなかった」から「4. 非常に普通のことだった」までの4件法で問い、高校性の交際において、「手をつなぐ」「デート」「キス」「身体を触る」「避妊について話し合う」「性感染症について話し合う」「結婚を意識した状況で性交をする」「結婚を意識していない状況で性交をする」といった行為がどの程度一般的であったかを「1. 全くないと思っていた」から「4. 非常によくあると思っていた」までの4件法で聞いた。

問4、問5では性と自己決定の例として、人工妊娠中絶、避妊用のピルについて高校時代どのように考えていたかを選択肢から複数回答で聞いた。

問6では性についての話題を誰と共有していたかについて「結婚や恋愛」「月経や射精」「身体」「マスターベーション」「交際」「メデ

「性情報」の6つについて、「まじめな性的話」として「興味本位の性的話」としての2パターンにわけ、「話さなかった」「父親」「母親」「異性のきょうだい」「同性のきょうだい」「異性の友達」「同性の友達」「恋人」「学校の先生」「医療者」の中から複数回答で聞いた。

問7では高校時代の対人関係について、コミュニケーションを求める欲求がどの程度あったかという項目について「1. 全く思わなかった」から「4. 非常に思っていた」までの4件法で聞いた。

問8では、性やジェンダー平等、多様な生き方についての価値観を「1. 非常に否定的」から「4. 非常に肯定的」の4件法で聞いた。

問9ではデートDVへの許容度に関する5項目について「1. 許されない」から「4. 許される」までの4件法で聞いた。

問10では性的な目的でのインターネットの利用の有無について「1. 全くなかった」から「4. よくあった」までの4件法で聞いた。

問11では性的コンテンツの利用の目的について、選択肢から複数回答で聞いた。

問12では身近に起ったインターネット上の性に関するトラブルについて選択肢から複数回答で聞いた。

問13ではインターネット上の性に関するトラブルをどの程度身近に感じていたかを「1. 全くなかった」から「4. 常に思っていた」までの4件法で聞いた。

問14、15ではインターネット上の性に関するトラブルを回避する方法を知っていたか、またそれをどこで学んだかについて聞いた。

問16では、「性」という言葉への否定感、肯定感を確認するため、「興奮」「心地よい」「不安」「いやらしい」「こわい」「汚い」「楽しい」「安心」「大切」「恥ずかしい」という10個の言葉について「1. 全くあてはまらない」から「4. 非常にあてはまる」までの4件法で聞いた。

問17では卒業した高校の状況を、問18で

は高校時代の家族について聞き、問19で回答者の年齢と性別を聞いた。

2.5 調査の実施

質問紙の配布は2014年12月～3月に行った。機縁法で選定した7つの大学で質問紙を配布、回収した。質問紙は964部配布し、有効なデータと認められたものは887部であったため、回収率は92.01%であった。

2.6 倫理的配慮

使用した質問紙、調査手順は香川栄養学園実験研究に関する倫理審査委員会の承認(第320号)を得ており、倫理的な問題はないものと思われる。

2.7 データの分析方法

データの統計的処理には統計解析ソフト「SPSS Ver. 22.0」を用いた。

3 結果と考察

3.1 調査協力者の属性

分析対象者は男性187名、女性702名の合計887名であった。男性対象者の年齢は17～26歳(Mn=20.03、SD=1.61)であり、女性対象者の年齢は18～26歳(Mn=19.58、SD=1.20)であった。男女の対象者の比率が不均衡であるため今後調整が必要であると考えられるが、本稿ではこの887名のデータを用いて基礎的な分析を行う。

3.2 結果と考察

3.2.1 高校生活の経験

高校時代に性別役割に基づく指導を学校や家庭でされていたかについては、「委員長は男性、副委員長は女性という暗黙の了解」「文系は女性、理系は男性という性別役割(教員、家族、回答者の意識)」という項目については、男女ともに90%前後が「全くなかった」「あまりなかった」と答えている。「課外活動や生活

指導などで男らしく・女らしくするよう教員に言われた」については全体の 25.8%が「まあまああった」、6.3%が「非常によくあった」と回答しており、女性(Mn=2.12, SD=.90)のほうが男性(Mn=1.99, SD=.85)よりも指導を経験したという有意傾向が見られた($t=-1.75$, $p=.08$)。また「家庭で性別を理由に勉強をするように言われた」については、男女ともに95%以上が「全くなかった」「あまりなかった」と答えており、男女差もないが、「家庭で性別を理由に家事を手伝うように言われた」については、女性(Mn=2.10, SD=1.04)のほうが男性(Mn=1.30, SD=.57)よりも経験したという有意な差が見られた($t=-14.0$, $p<.00$)。

このことから、第六世代においては進路指導や委員、学業などの公的な部分において性差による指導の違いは見られないが、課外活動や生活指導、家の手伝いなどの日常的な場面では、特に女子に対して性別役割分業に基づく指導や期待が残っていることが示唆された。

3.2.2 高校時代に学んだこと

「性役割分業(社会)(家庭)」についての学習は男女とも60~70%が「全くなかった」「あまりなかった」と回答しているが、家庭における性役割分業については、女性(Mn=2.29, SD=.79)のほうが男性(Mn=2.29, SD=.77)よりも学んだことがあるという有意傾向が見られた($t=-1.79$, $p=.07$)。また、男女全体で見ると、社会における性役割分業(Mn=2.19, SD=.75)よりも家庭における性役割分業(Mn=2.26, SD=.77)を学んだことがあるという有意な差が見られた($t=-3.92$, $p<.00$)。このことから、性役割分業は公の場よりも私の中で強く強調されており、男性よりも女性のほうがそれを敏感に感じ取っているということが示唆された。

「思春期の心身の変化(Mn=2.82, SD=.70)」「インターネットにおける性のトラブル

(Mn=2.68, SD=.80)」については男女とも60~70%の者が学んだ経験があると回答しているが、デートDVなどを含めた「恋人との交際(Mn=2.40, SD=.83)」、「性的少数者(Mn=2.03, SD=.78)」については学んだ経験があると答えた者は30~45%程度だった。また、「避妊と性感染症(Mn=2.77, SD=.75)」は、男女ともに過半数が学んだ経験が「非常によくあった」「まあまああった」と回答しているものの、男女差を見ると男性(Mn=2.66, SD=.84)よりも女性(Mn=2.80, SD=.73)のほうが学んだ経験があると回答している。日本における避妊法は男性用コンドームが主流であり²、性感染症を予防する最も一般的で有効な手段も男性用コンドームであるため、望まない妊娠および性感染症を防ぐことは男性が主体となって行われているのが現状である。男性用コンドームの使用率が高いにも関わらず男性の性の健康意識が低いことについては、羽入ら³、岸田ら⁴、村口⁵、など多くの研究者が指摘しているとおりである。本調査でも女性よりも男性のほうが、学んだ経験がない、あるいは学んだ覚えがないという結果になっている。このことから、男性の性の健康意識および女性が主体的に避妊を考える意識の向上は日本の性の健康を考えるうえで喫緊の課題であると言える。

² 森岡真梨(2013) 世界で使用されている避妊法—ピルに焦点をあてて—。教育学研究室紀要—<教育とジェンダー>研究—第10号。19-26。

³ 羽入雪子・佐藤怜(2002) 大学生の避妊および低用量ピルに関する意識。日本赤十字秋田短期大学紀要 第7号 53-59, 2002

⁴ 岸田泰子・北村俊則(2005) 青年期の性意識・性行動に関する研究—第1報 大学生の性意識・性行動に関する基礎集計—。母性衛生 第46巻1号 170-178, 2005

⁵ 村口喜代(2005) 過去5年間のSTD患者傾向とコンドーム使用に関するアンケート調査結果。日本性科学会雑誌 第23巻1号 16-23, 2005

3.2.3 高校時代の交際

「高校時代、あなたの周囲で、恋人がいるというのはどのくらい普通のことでしたか？」という問いに対して男性と女性間に有意な差は見られず、男女とも70~80%が「まあまあ普通のこと」「非常に普通のこと」と回答していた。「手をつなぐ(Mn=3.66, SD=.58)」「デートをする(Mn=3.69, SD=.54)」「キスをする(Mn=3.40, SD=.67)」についても男女ともに90%以上が普通のことだと回答している。

しかし「お互いの身体を触る」については女性(Mn=3.00, SD=.76)よりも男性(Mn=3.14, SD=.75)のほうが普通のことだと考えるという差が有意($t=2.18, p=.03$)であり、「性交をする」についても同様に男性(Mn=2.66, SD=.88)のほうが女性(Mn=2.41, SD=.84)よりも許容度が高いという差が有意であった($t=3.55, p<.00$)。前述した性感染症や避妊についての学習経験と合わせて考えると、男性のほうが性的な関係を許容しているにも関わらず、学んだ経験が少ないということは問題であり、特に男性に対する性教育の必要性が高まっていることが言える。

また、「避妊について話し合う(Mn=2.14, SD=.76)」「性感染症について話し合う(Mn=1.84, SD=.68)」は男女ともに80%以上の回答者が「全くないと思っていた」「あまりないと思っていた」と答えており、全体としては避妊や性感染症の意識が高くないことが伺える。しかし、性交への許容度別に見ると(表1)、高校生の交際において性交が「非常によくある」「まあまあある」と答えた、性交許容高群は、「あまりない」「全くない」と回答していた許容低群よりも、避妊や性感染症についての話し合いを普通のことだと考えていた。このことから、性交をするということが身近なことになれば避妊や性感染症についても現実的な問題として、交際相手と話し合いができるようになる可能性はあるだろう。

表1 性交許容度の高低による、避妊・性感染症の話し合いへの態度

	許容	N	Mn	SD	t	p
避妊について話し合う	低	405	1.84	0.66	-11.8	0.0
	高	476	2.39	0.74		
性感染症について話し合う	低	406	1.65	0.58	-7.7	0.0
	高	474	1.99	0.72		

3.2.4 人工妊娠中絶についての考え方

男女に考え方の有意な差は見られなかった。人工妊娠中絶について「どんな場合でもしてよい(Mn=.06, SD=.25)」と考えている者は6%程度しかいなかったが、「どんな場合でもしてはいけない(Mn=.17, SD=.38)」と考えている者も17%であった。また「母体が危険である場合はしてよい(Mn=.63, SD=.48)」「経済的に子どもが育てられない場合はしてよい(Mn=.59, SD=.49)」が60%程度を占めるなど、許容度は比較的高めである。また「子どもがほしくない場合はしてもよい(Mn=.30, SD=.46)」という考え方に賛同したものは3割とやや低く、人工妊娠中絶が許容されるかどうかは、経済や健康の状態などが、どの程度やむをえないと判断できるかによることが示唆される。

3.2.5 避妊用ピルについての考え方

男女ともに「使わないほうがよい(Mn=.17, SD=.38)」と考える者も17%いるものの、「使ってもよい(Mn=.32, SD=.47)」「女性の意志で使うべき(Mn=.50, SD=.50)」と、使用を希望する女性が使うことに関しては許容する者も多い。また、「男性の同意のもとで使うべき(Mn=.09, SD=.29)」と考える者も少数ではあるが存在しており、女性(Mn=.07, SD=.26)よ

りも男性(Mn=.16, SD=.37)のほうがこの考え方に賛同するものが有意に多かった($t=3.23, p<.00$)。これは、女性が性の自己決定権を持つという考え方が社会に浸透しておらず、生殖に関する決定から疎外されることに抵抗感を覚える男性がいることから起こっていると考えられる。

また「使わないほうがよい」と考える者は女性(Mn=.18, SD=.39)のほうが男性(Mn=.13, SD=.34)よりも多いという有意傾向がみられた($t=-1.79, p=.07$)。避妊用ピルは日本では副作用が強く強調されてきた歴史的経緯があり⁶、そのためピル服用の当事者である女性が、ピルに対して警戒心を持っている可能性が示唆される。

3.2.6 性についての会話

この項目については更なる分析が必要であり、本稿では文末にデータを掲載するに留める。データの概要としては、結婚や恋愛、身体については女性のほうが、多くの相手と性のことを話題にしており、男性はマスターベーションやメディアで取り扱われる性のことを多くの相手と話題にしている傾向が見られた。また、月経や射精についてはまじめな内容が話題になっているが、マスターベーションやメディアで取り扱われる性については、興味本位で話題にすることが多い傾向が見られた。

3.2.7 コミュニケーション希求

「友人がほしい／必要だ」については男性(Mn=3.26, SD=.78)よりも女性(Mn=3.46, SD=.69)のほうがそう思っているという差が有意であった($t=-3.52, p<.00$)。

「友人に自分の個人的な悩みなどについて聞いてもらいたい」については男性(Mn=2.71,

SD=.80)よりも女性(Mn=3.06, SD=.79)のほうがそう思っているという差が有意であった($t=-5.44, p<.00$)。

「友人の個人的な悩みを聞いてあげたい」については男性(Mn=2.91, SD=.81)よりも女性(Mn=3.29, SD=.68)のほうがそう思っているという差が有意であった($t=-6.33, p<.00$)。

「友人と親しくしたいと思うのは普通のことだ」については男性(Mn=3.32, SD=.70)よりも女性(Mn=3.47, SD=.61)のほうがそう思っているという差が有意であった($t=-2.77, p<.01$)。

また、「恋人がほしい／必要だ」については女性(Mn=2.59, SD=.83)よりも男性(Mn=2.92, SD=.80)のほうがそう思っているという差が有意であった($t=4.87, p<.00$)。

「恋人に対して性的な欲求をもつことは普通のことだ」については女性(Mn=2.50, SD=.79)よりも男性(Mn=2.91, SD=.70)のほうがそう思っているという差が有意であった($t=6.88, p<.00$)。

このことから、女性は自己開示をしあえる友人を求める傾向が強く、男性のほうが性的な関係も含んだ恋人が欲しいと強く思っていることが伺える。

3.2.8 様々な価値観

26項目のなかで最も肯定的に評価されていたのが「月経」であり、次いで「異性の恋人をもつこと」「子どもをもつこと」「法的に結婚をすること」と、異性との交際・結婚・出産という伝統的なライフコースに沿った価値観が肯定的に評価されていた。しかしその次に「恋人をもたないこと」に対しても80%以上が肯定的に捉えていることがわかった。

伝統的な家族観やライフコースへの肯定感が強いものの、「一生独身でいること」「共働きの夫婦で、男性が家事を主に担うこと」「同性の恋人をもつこと」についても過半数が肯定的（「非常に」もしくは「やや肯定的」）

⁶ 松本彩子(2005) ピルはなぜ歓迎されないのか 勁草書房。

であることから、第六世代には比較的、多様な価値観や生き方を受け入れる素地があることが伺える（表2）。

表2 26項目に対する肯定感(中央値=2.5)

	Mn	SD
月経	3.01	.77
異性の恋人をもつこと	3.50	.62
子どもをもつこと	3.41	.67
法的に結婚をすること	3.16	.83
恋人をもたないこと	3.12	.73
脱毛をすること	3.12	.70
ダイエットをすること	3.01	.74
子どもをもたないこと	2.86	.84
共働きの夫婦で、女性が家事を主に担うこと	2.74	.77
子どもがうまれた後に女性が仕事を辞めること	2.73	.72
射精	2.72	.84
一生独身でいること	2.70	.88
共働きの夫婦で、男性が家事を主に担うこと	2.70	.74
男性のマスターベーション	2.64	.86
結婚後に女性が仕事を辞めること	2.64	.73
恋人と一緒に住むこと	2.62	.89
同性の恋人をもつこと	2.61	.88
女性のマスターベーション	2.45	.85
離婚をすること	2.35	.89
顔や身体美容整形をすること	2.14	.82
結婚後に男性が仕事を辞めること	2.00	.79
子どもがうまれた後に男性が仕事を辞めること	1.95	.80
未成年が飲酒すること	1.92	.79
タトゥー（刺青）を入れること	1.60	.76
未成年が喫煙すること	1.47	.70
金銭を介した性的な行為	1.34	.60

※網掛は肯定の回答が過半数に至らなかった項目

男女差をみると「月経」「射精」「マスターベーション（男女）」の性と生殖に関する身体の事柄、において女性よりも男性のほうが有意に肯定的に受け止めているということがわかった(表4)。この背景には、性について男性のほうが主体性を求められることや女性のほうが慎みを求められることが多いことと関連がある可能性があるだろう。

また、女性のほうが有意に肯定的に評価している事柄としては「同性の恋人をもつこと」「恋人をもたないこと」「子どもをもたないこと」といった、伝統的なライフコースに沿わない事柄が挙げられる。また、マスターベーションについては男性が行う場合のほうが女性が行う場合より肯定的に受け止められていた(表5)。

3.2.9 デートDV

「恋人に身体的な暴力をふるう」「恋人の友人関係に口をだして束縛する」「恋人の望まない性的な関係を強要する」「本人は望んでいないが恋人のために性的な関係をもつ」については全体の95%以上が「許されない」「あまり許されない」と回答しており、特に身体的暴力については94.5%が「許されない」と回答していた。一方で、「恋人の友人関係に口をだして束縛する(59.2%)」「恋人の予定を把握して口出しをする(39.4%)」については、「許されない」と回答した者が減っており、身体的暴力よりも社会的暴力を許容する傾向が見られた。特に、「恋人の予定を把握して口出しをする」ことについては男性(Mn=1.64, SD=.63)よりも女性(Mn=1.74, SD=.67)の許容度が高いという有意傾向が見られた($t=-1.68, p<.1$)。

また「恋人の望まない性的な関係を強要する」では男性(Mn=1.20, SD=.43)、女性(Mn=1.09, SD=.31)で男性の方が高い($t=3.32, p<.05$)、「本人は望んでいないが恋人のために性的な関係をもつ」では男性

(Mn=1.59, SD=.69)、女性(Mn=1.26, SD=.50)で男性の方が高いという有意な差が見られた。このことから、社会的暴力は女性のほうが、性的暴力は男性のほうが許容度が高いということが示唆される。

3.2.10 インターネットと性

「共通の趣味をもつ友人や仲間をつくるため」については有意な男女差が見られなかったが、「ポルノ(動画・画像)を見るため(男性57.7%, 女性6.4%)」「性的なやりとりや、出会いをするため(男性4.5%, 女性0.4%)」「性についての医学的・教育的な知識を得るため(男性28.6%, 女性9.3%)」「性的な内容の漫画や小説を楽しむため(男性37.5%, 女性6.3%)」という性に関わる4項目全てで、女性よりも男性のほうがインターネットを利用しているという結果が見られた。

また、男性が性的なコンテンツを利用する理由として最も多かったのは「個人的なたのしみ(87.5%)」であり、次いで「友人と盛り上がる(43.2%)」、「知識を得る(25.0%)」となっていた。経験したことがあるネットでのトラブルについて、「売買春」でのトラブルは男性(Mn=.07, SD=.26)のほうが女性(Mn=.04, SD=.18)よりも経験者が多い($t=1.68, p<.1$)という有意傾向が見られた。また、「架空請求」についても男性(Mn=.44, SD=.50)のほうが、女性(Mn=.23, SD=.42)よりも経験者が有意に多かった。

自分がトラブルにあう可能性をどのように考えているか聞いたところ、男性(Mn=2.73, SD=.88)のほうが女性(Mn=2.56, SD=.90)よりもトラブルにあう可能性が有意に高いと考えていた($t=2.17, p<.05$)。

トラブルにあわないための方法を学んだ場所として、「学校の授業」と回答した者は男性(Mn=.59, SD=.49)よりも女性(Mn=.76, SD=.43)のほうが有意に多かった($t=-3.93, p<.00$)。また、「友人との会話」「ネット上」

「自然と」と回答した者は男性のほうが有意に多かった。

このことから、男性はインターネットでの性的コンテンツの利用が女性よりも活発であり、性のトラブルに巻き込まれる可能性も高い。男性自身もそれを自覚しており、対処法は自分で学んでいるという傾向が見られた。今回の調査では、インターネットトラブルを回避するための「学校の授業」がどういった内容であるかまでは調査していないため、自ら情報収集を行った男性よりも授業で学んだ女性のほうが適切な情報を得られたとは限らない。インターネット上での詐欺や売買春などの犯罪における最先端の情報は、学校で教員から学ぶよりも、インターネット上で情報を得るほうが有用である可能性もある。いずれにしても、玉石混交の情報が行き交うインターネットにおけるリテラシーを培う教育は必須であると言えるだろう。

3.2.11 “性”という言葉のイメージ

全体を見ると「恥ずかしい」「いやらしい」というイメージをもつ者が多かった(表3)。

「興奮」「心地よい」「楽しい」「安心」「大切」については女性よりも男性のほうが賛同するという有意な差が見られた。また「不安」「こわい」「汚い」については男性よりも女性のほうが賛同するという有意な差が見られた。「いやらしい」「恥ずかしい」は男女に共通して高く、有意な男女差は見られなかった(表4)。

「心地よい、楽しい、安心、大切」を肯定的イメージ、「不安、いやらしい、こわい、汚い」を否定的イメージとしてそれぞれ1つの変数にまとめ、男女差を検討したところ、肯定的イメージについては、女性(Mn=2.18, SD=.61)よりも男性(Mn=2.52, SD=.59)のほうが有意に高く($t=6.75, p<.00$)、否定的イメージについては男性(Mn=2.32, SD=.53)よりも女性(Mn=2.54, SD=.62)が有意に高い

($t=-4.66$, $p<.00$)ということが明らかになった。

女性のほうが性に対するイメージが否定的であるということについては、月経やマスターベーションに関する価値観などとの関連があることが考えられるため、今後の分析が必要である。

表3 “性” についてのイメージ

	Mn	SD
恥ずかしい	2.84	.76
いやらしい	2.78	.74
大切	2.61	.83
不安	2.51	.80
興奮	2.45	.80
こわい	2.43	.81
汚い	2.25	.78
楽しい	2.20	.75
心地よい	2.20	.79
安心	2.00	.72

4. まとめ

ここまで見られたように、第六世代は男女平等が社会のなかで当然のものとして受け入れられるようになった環境で育っていると考えられる。しかし進路選択や学業といった公的な場では男女平等がある程度徹底されているものの、家庭という私的な場では親などの年長者の影響もあり、性役割分業が根強く残っていることが示唆された。

また、性感染症や避妊、ドメスティック・バイオレンス (DV/デートDV)、性的少数者、避妊用ピル、人工妊娠中絶といったセクシュアリティに関わる事柄についての学習が不足しており、彼らが今後社会に出て、成人として様々な問題に直面する際に、個人にとって最善の判断が出来るだけの知識やスキルを得られているかどうかは疑問である。特にDVに関しては、身体的暴力が許されないもので

あるという考え方は浸透しているものの、束縛や本人が望まない性的な関係の強要が暴力になり得るといった考え方はまだ共有されていないことも示唆された。また本調査では質問していないが経済的暴力などについての意識にも同様に低いことが推測される。

全体を通して、女性よりも男性のほうが性的興味や欲求を強く持っている傾向が見られたが、避妊と性感染症、インターネットトラブルについて学んだことがあると回答したのは女性が多かった。このため高リスクである男性（男子）への正しい知識の伝達、柔軟な思考育むことを視野に入れた教育を行っていく必要があると考えられる。実際に欧州では男子を特にターゲットとした性教育の充実が進められている⁷。

5. 今後の課題

本稿では基礎的な分析を行うに留めたが、今後、性別だけではない回答者の属性や、変数同士の関連を詳細に分析していく必要がある。

⁷ 森岡真梨(2014) 2013年欧州(フィンランド・フランス・ドイツ)調査報告. 教育学研究室紀要 ―教育とジェンダー―研究―第11号. 52-72.

表4 平均値の男女差と、差の検定

		N	Mn	S.D.	t	df	p		
性別役割に基づく指導	課外活動や生活指導などで男らしく・ 女らしくするよう教員に言われた	男性 女性	187 699	1.99 2.12	0.85 0.90	-1.75	306.77	0.08	†
	委員長は男性、副委員長は女性という 暗黙の了解があった	男性 女性	186 697	1.47 1.43	0.74 0.74	0.70	881.00	0.49	n. s.
	文系か理系かを決める際、教員から性 別をもとにどちらかを勧められた	男性 女性	185 696	1.30 1.32	0.59 0.60	-0.30	879.00	0.76	n. s.
	文系か理系かを決める際、家族から、 性別をもとにどちらかを勧められた	男性 女性	187 698	1.21 1.18	0.52 0.48	0.73	883.00	0.47	n. s.
	文系か理系かを決める際、性 別を考慮した。	男性 女性	187 698	1.20 1.27	0.49 0.59	-1.64	345.87	0.10	n. s.
	家庭で、性別を理由に勉強を するように言われた	男性 女性	187 699	1.20 1.19	0.52 0.49	0.39	884.00	0.70	n. s.
	家庭で、性別を理由に家事を 手伝うように言われた	男性 女性	187 699	1.30 2.10	0.57 1.04	-14.00	553.40	0.00	***
	学習経験	社会における男性と女性の性 役割分担について	男性 女性	186 698	2.14 2.20	0.79 0.74	-0.98	882.00	0.33
家庭における男性と女性の性 役割分担について		男性 女性	186 698	2.17 2.29	0.79 0.77	-1.79	882.00	0.07	†
セクシュアル・マイノリティ について		男性 女性	185 698	2.02 2.03	0.75 0.80	-0.26	881.00	0.80	n. s.
思春期の心と体の変化（第 二次性徴など）について		男性 女性	186 695	2.80 2.83	0.71 0.71	-0.45	879.00	0.65	n. s.
恋人との交際（つきあいか た、デートDVなど）について		男性 女性	186 698	2.37 2.41	0.84 0.83	-0.60	882.00	0.55	n. s.
避妊と性感染症について		男性 女性	186 697	2.66 2.80	0.84 0.73	-2.01	263.93	0.05	*
インターネットにおける性の トラブルについて		男性 女性	186 698	2.58 2.70	0.80 0.79	-1.83	882.00	0.07	†
恋人との交際の可否	高校時代、恋人がいるというの どのくらい普通のことでしたか？	男性 女性	185 696	2.98 2.92	0.70 0.80	1.06	324.22	0.29	n. s.
	手をつなぐ	男性 女性	184 698	3.60 3.68	0.63 0.56	-1.43	264.96	0.15	n. s.
	デートをする	男性 女性	184 698	3.63 3.70	0.59 0.53	-1.56	265.97	0.12	n. s.
	キスをする	男性 女性	184 692	3.39 3.41	0.69 0.66	-0.42	874.00	0.68	n. s.
	お互いの身体を触る	男性 女性	184 693	3.14 3.00	0.75 0.76	2.18	875.00	0.03	*
	避妊について話し合う	男性 女性	184 697	2.22 2.12	0.82 0.74	1.52	266.36	0.13	n. s.
	性感染症について話し合う	男性 女性	184 696	1.88 1.82	0.77 0.66	0.89	878.00	0.37	n. s.

			N	Mn	S.D.	t	df	p		
可否	恋人との交際の	結婚を意識したうえで性交をする	男性	184	1.90	0.79	1.46	878.00	0.14	n. s.
		女性	696	1.81	0.69					
		結婚を意識していない状況で性交をする	男性	184	2.66	0.88	3.55	880.00	0.00	***
		女性	698	2.41	0.84					
コミュニケーション希求	友人がほしい／必要だ	男性	184	3.26	0.78	-3.52	877.00	0.00	***	
		女性	695	3.46	0.69					
	友人に自分の個人的な悩みなどについて聞いてもらいたい	男性	184	2.71	0.80	-5.44	285.42	0.00	***	
		女性	693	3.06	0.79					
	友人の個人的な悩みを聞いてあげたい	男性	183	2.91	0.81	-6.33	870.00	0.00	***	
		女性	689	3.29	0.68					
	友人とは表面的な付き合いで構わない	男性	184	2.09	0.78	0.84	877.00	0.40	n. s.	
		女性	695	2.03	0.75					
学校外でもつきあえる友人が欲しい	男性	184	3.02	0.78	-0.75	875.00	0.45	n. s.		
	女性	693	3.07	0.82						
友人と親しくしたいと思うのは普通のことだ	男性	183	3.32	0.70	-2.77	874.00	0.01	**		
	女性	693	3.47	0.61						
恋人がほしい／必要だ	男性	184	2.92	0.80	4.87	294.92	0.00	***		
	女性	692	2.59	0.83						
恋人に対して性的な欲求をもつことは普通のことだ	男性	184	2.91	0.70	6.88	319.26	0.00	***		
	女性	694	2.50	0.79						
人工妊娠中絶	どんな場合でもしてよい	男性	180	0.08	0.27	0.83	869.00	0.41	n. s.	
		女性	691	0.06	0.24					
	母体が危険である場合はしてよい	男性	180	0.60	0.49	-0.87	869.00	0.38	n. s.	
		女性	691	0.64	0.48					
	経済的に子どもが育てられない場合はしてよい	男性	180	0.54	0.50	-1.48	275.40	0.14	n. s.	
		女性	691	0.60	0.49					
子どもが欲しくない場合はしてよい	男性	180	0.26	0.44	-1.34	290.78	0.18	n. s.		
	女性	691	0.31	0.46						
どんな場合でもしてはいけない	男性	180	0.16	0.37	-0.44	869.00	0.66	n. s.		
	女性	691	0.18	0.38						
言葉を知らなかった	男性	180	0.03	0.16	0.90	235.54	0.37	n. s.		
	女性	691	0.02	0.13						
避妊用ピル	使うべき	男性	182	0.19	0.39	0.74	876.00	0.46	n. s.	
		女性	696	0.16	0.37					
	使ってもよい	男性	182	0.27	0.45	-1.44	294.15	0.15	n. s.	
		女性	696	0.33	0.47					
	女性の意志で使うべき	男性	182	0.52	0.50	0.60	876.00	0.55	n. s.	
		女性	696	0.50	0.50					
	男性の同意のもとで使うべき	男性	182	0.16	0.37	3.23	227.68	0.00	**	
女性		696	0.07	0.26						
使わないほうがよい	男性	182	0.13	0.34	-1.79	316.10	0.07	†		
	女性	696	0.18	0.39						
使うべきではない	男性	182	0.07	0.25	0.43	876.00	0.67	n. s.		
	女性	696	0.06	0.23						
言葉を知らなかった	男性	182	0.08	0.27	-0.03	875.00	0.97	n. s.		
	女性	695	0.08	0.27						

		N	Mn	S.D.	t	df	p		
様々な価値観について	月経	男性	169	3.14	0.68	2.46	848.00	0.01	*
		女性	681	2.98	0.78				
	射精	男性	170	3.20	0.69	9.71	303.32	0.00	***
		女性	669	2.60	0.83				
	男性のマスタベーション	男性	171	3.25	0.63	13.11	338.60	0.00	***
		女性	668	2.49	0.84				
	女性のマスタベーション	男性	170	3.08	0.72	12.47	285.65	0.00	***
		女性	668	2.28	0.80				
	顔や身体美容整形をすること	男性	174	2.05	0.81	-1.63	856.00	0.10	n. s.
		女性	684	2.17	0.83				
	ダイエットをすること	男性	174	2.62	0.71	-8.17	267.83	0.00	***
		女性	685	3.11	0.71				
	脱毛をすること	男性	174	2.72	0.72	-8.66	857.00	0.00	***
		女性	685	3.22	0.66				
	タトゥー（刺青）を入れること	男性	174	1.70	0.83	1.75	246.01	0.08	†
		女性	686	1.58	0.74				
	未成年が飲酒すること	男性	174	1.98	0.87	0.99	245.91	0.32	n. s.
		女性	685	1.91	0.77				
	未成年が喫煙すること	男性	174	1.59	0.79	2.31	240.96	0.02	*
		女性	687	1.44	0.68				
金銭を介した性的な行為	男性	172	1.57	0.77	4.72	215.66	0.00	***	
	女性	684	1.28	0.54					
異性の恋人をもつこと	男性	173	3.59	0.57	2.25	285.84	0.02	*	
	女性	684	3.48	0.62					
同性の恋人をもつこと	男性	174	2.41	0.94	-3.24	251.14	0.00	**	
	女性	683	2.66	0.86					
恋人をもたないこと	男性	174	2.98	0.78	-2.99	855.00	0.00	**	
	女性	683	3.16	0.71					
恋人と一緒に住むこと	男性	174	2.83	0.81	3.82	289.58	0.00	***	
	女性	684	2.56	0.90					
法的に結婚をすること	男性	174	3.15	0.75	-0.20	299.07	0.84	n. s.	
	女性	684	3.16	0.85					
離婚をすること	男性	174	2.30	0.86	-0.68	855.00	0.50	n. s.	
	女性	683	2.36	0.90					
一生独身でいること	男性	174	2.62	0.93	-1.35	857.00	0.18	n. s.	
	女性	685	2.72	0.86					
子どもをもつこと	男性	174	3.41	0.63	0.02	858.00	0.98	n. s.	
	女性	686	3.41	0.69					
子どもをもたないこと	男性	174	2.70	0.88	-2.83	257.27	0.01	**	
	女性	686	2.90	0.83					

		N	Mn	S.D.	t	df	p		
様々な価値観について	結婚後に男性が仕事を辞めること	男性	173	2.24	0.86	4.31	242.89	0.00	***
		女性	683	1.93	0.75				
	結婚後に女性が仕事を辞めること	男性	174	2.79	0.68	3.24	284.05	0.00	**
		女性	687	2.60	0.74				
	子どもが生まれた後に男性が仕事を辞めること	男性	173	2.20	0.84	4.48	251.95	0.00	***
		女性	683	1.89	0.78				
子どもが生まれた後に女性が仕事を辞めること	男性	174	2.79	0.66	1.29	291.17	0.20	n. s.	
	女性	687	2.71	0.73					
共働きの夫婦で、女性が家事を主に担うこと	男性	174	2.90	0.65	3.41	314.66	0.00	***	
	女性	686	2.70	0.79					
共働きの夫婦で、男性が家事を主に担うこと	男性	174	2.76	0.71	1.27	856.00	0.20	n. s.	
	女性	684	2.68	0.75					
DVについて	恋人に身体的な暴力をふるう	男性	176	1.07	0.27	0.73	864.00	0.47	n. s.
		女性	690	1.05	0.23				
	恋人の予定を把握して口出しをする	男性	176	1.64	0.63	-1.68	863.00	0.09	†
		女性	689	1.74	0.67				
	恋人の友人関係に口をだして束縛する	男性	176	1.47	0.60	0.53	863.00	0.60	n. s.
女性		689	1.45	0.58					
恋人の望まない性的な関係を強要する	男性	176	1.20	0.43	3.32	221.71	0.00	**	
	女性	690	1.09	0.31					
本人は望んでいないが恋人のために性的な関係をもつ	男性	174	1.59	0.69	5.82	221.92	0.00	***	
	女性	690	1.26	0.50					
ネットのアダルトコンテンツ	ポルノ（動画・画像）を見るため	男性	175	2.62	1.12	15.61	205.21	0.00	***
		女性	687	1.25	0.65				
	性的なやりとりや、出会いをするため	男性	176	1.20	0.55	3.94	189.37	0.00	***
		女性	687	1.03	0.22				
	性についての医学的・教育的な知識を得るため	男性	175	1.99	0.94	7.04	227.89	0.00	***
		女性	685	1.45	0.72				
	性的な内容の漫画や小説を楽しむため	男性	176	2.16	1.08	10.62	205.94	0.00	***
		女性	685	1.26	0.62				
	共通の趣味をもつ友人や仲間をつくるため	男性	176	1.81	1.10	-0.71	861.00	0.47	n. s.
		女性	687	1.88	1.10				
利用なし	男性	176	0.07	0.25	-26.31	480.61	0.00	***	
	女性	682	0.74	0.44					
個人的なたのしみ	男性	176	0.88	0.33	27.16	856.00	0.00	***	
	女性	682	0.12	0.33					
友人と盛り上がる	男性	176	0.43	0.50	8.52	208.52	0.00	***	
	女性	682	0.10	0.30					
話題についていく	男性	176	0.19	0.39	5.79	183.61	0.00	***	
	女性	682	0.01	0.12					
知識を得る	男性	176	0.25	0.43	3.62	229.35	0.00	***	
	女性	682	0.12	0.33					

		N	Mn	S.D.	t	df	p		
ネットでのトラブル経験	売買春	男性	171	0.07	0.26	1.68	215.99	0.09	†
		女性	683	0.04	0.18				
	出会い系	男性	171	0.23	0.42	0.03	852.00	0.98	n. s.
		女性	683	0.23	0.42				
	架空請求	男性	171	0.44	0.50	5.09	234.21	0.00	***
		女性	683	0.23	0.42				
	個人特定	男性	171	0.11	0.31	-1.15	285.42	0.25	n. s.
		女性	683	0.14	0.34				
ネットいじめ	男性	171	0.18	0.38	-0.70	852.00	0.48	n. s.	
	女性	683	0.20	0.40					
ストーカー	男性	171	0.12	0.32	0.79	852.00	0.43	n. s.	
	女性	683	0.10	0.30					
流出	男性	171	0.20	0.40	1.20	246.16	0.23	n. s.	
	女性	683	0.16	0.37					
どれもない	男性	171	0.35	0.48	-2.36	270.10	0.02	*	
	女性	683	0.44	0.50					
トラブルと対処法・情報源	トラブルにあう可能性をどう考えていたか	男性	172	2.73	0.88	2.17	844.00	0.03	*
		女性	674	2.56	0.90				
	トラブルにあわないための方法	男性	187	2.55	0.67	-0.10	880.00	0.92	n. s.
		女性	695	2.55	0.66				
	学校の授業	男性	145	0.59	0.49	-3.93	204.04	0.00	***
		女性	548	0.76	0.43				
	学校外の講習	男性	145	0.08	0.27	-0.52	691.00	0.61	n. s.
		女性	548	0.09	0.29				
	友人との会話	男性	145	0.35	0.48	1.98	213.14	0.05	*
女性		548	0.26	0.44					
家庭	男性	145	0.18	0.38	-0.48	691.00	0.63	n. s.	
	女性	548	0.20	0.40					
ネット上	男性	145	0.29	0.46	2.05	207.78	0.04	*	
	女性	548	0.20	0.40					
自然と	男性	145	0.37	0.49	2.26	212.60	0.03	*	
	女性	548	0.27	0.45					
性のイメージ	興奮	男性	187	2.84	0.68	8.46	337.62	0.00	***
		女性	690	2.34	0.80				
	心地よい	男性	187	2.54	0.77	6.90	292.56	0.00	***
		女性	690	2.10	0.76				
	不安	男性	187	2.24	0.73	-5.57	316.74	0.00	***
		女性	688	2.58	0.80				
	いやらしい	男性	187	2.85	0.69	1.63	312.53	0.10	n. s.
		女性	691	2.76	0.75				
こわい	男性	187	2.07	0.75	-7.13	309.49	0.00	***	
	女性	691	2.52	0.80					
汚い	男性	187	2.13	0.77	-2.36	873.00	0.02	*	
	女性	688	2.28	0.78					
楽しい	男性	187	2.60	0.72	8.46	294.53	0.00	***	
	女性	689	2.10	0.72					

		N	Mn	S.D.	t	df	p		
性のイメージ	安心	男性	186	2.13	0.78	2.65	269.66	0.01	**
		女性	689	1.97	0.70				
	大切	男性	186	2.81	0.77	3.81	309.95	0.00	***
		女性	689	2.56	0.83				
	恥ずかしい	男性	187	2.78	0.78	-1.39	875.00	0.16	n. s.
		女性	690	2.86	0.75				
心地よい、楽しい、安心、大切	男性	187	2.52	0.59	6.75	875.00	0.00	***	
	女性	690	2.18	0.61					
不安、いやらしい、こわい、汚い	男性	187	2.32	0.53	-4.66	337.13	0.00	***	
	女性	691	2.54	0.62					
性について話す相手	まじめな結婚や恋愛	男性	182	0.17	0.16	-2.64	865.00	0.01	**
		女性	685	0.21	0.16				
	まじめな月経や射精	男性	181	0.07	0.09	-9.49	365.13	0.00	***
		女性	685	0.14	0.12				
	まじめな身体	男性	180	0.09	0.12	-3.56	860.00	0.00	***
		女性	682	0.12	0.12				
	まじめなマスターベーション	男性	180	0.06	0.07	6.30	252.65	0.00	***
		女性	669	0.02	0.06				
	まじめな交際	男性	182	0.16	0.16	-1.40	864.00	0.16	n. s.
		女性	684	0.18	0.16				
	まじめなメディアの性	男性	178	0.07	0.10	2.12	853.00	0.03	*
		女性	677	0.05	0.09				
	興味の結婚や恋愛	男性	182	0.17	0.14	-3.07	864.00	0.00	**
		女性	684	0.21	0.15				
興味の月経や射精	男性	181	0.08	0.09	-5.34	350.23	0.00	***	
	女性	675	0.12	0.11					
興味の身体	男性	182	0.10	0.12	-0.74	851.00	0.46	n. s.	
	女性	671	0.11	0.11					
興味のマスターベーション	男性	181	0.09	0.07	8.99	844.00	0.00	***	
	女性	665	0.03	0.08					
興味の交際	男性	182	0.17	0.14	-0.30	862.00	0.77	n. s.	
	女性	682	0.17	0.14					
興味のメディアの性	男性	181	0.09	0.10	2.98	280.57	0.00	**	
	女性	672	0.07	0.09					

p<0.001***, p<0.01**, p<0.05*, p<0.1†

表5 価値観、話す相手についての平均値と差の検定

	N	Mn	S.D.	t	df	p	
社会における男性と女性の役割分担について	884	2.19	0.75	-3.92	883.00	0.00	***
家庭における男性と女性の役割分担について	884	2.26	0.77				
月経	838	3.02	0.76	11.51	837.00	0.00	***
射精	838	2.72	0.84				
男性のマスターベーション	837	2.64	0.86	11.16	836.00	0.00	***
女性のマスターベーション	837	2.44	0.85				
異性の恋人をもつこと	854	3.50	0.62	27.55	853.00	0.00	***
同性の恋人をもつこと	854	2.62	0.88				
子どもをもつこと	860	3.41	0.67	17.04	859.00	0.00	***
子どもをもたないこと	860	2.86	0.84				
結婚後に男性が仕事を辞めること	856	2.00	0.79	-21.79	855.00	0.00	***
結婚後に女性が仕事を辞めること	856	2.64	0.73				
子どもが生まれた後に男性が仕事を辞めること	856	1.95	0.80	-24.81	855.00	0.00	***
子どもが生まれた後に女性が仕事を辞めること	856	2.73	0.72				
共働きの夫婦で、女性が家事を主に担うこと	857	2.74	0.77	1.87	856.00	0.06	†
共働きの夫婦で、男性が家事を主に担うこと	857	2.70	0.74				
心地よい、楽しい、安心、大切	877	2.25	0.62	-8.80	876.00	0.00	***
不安、いやらしい、こわい、汚い	877	2.49	0.61				
まじめな結婚や恋愛	861	0.20	0.16	0.45	860.00	0.65	n. s.
興味の結婚や恋愛	861	0.20	0.15				
まじめな月経や射精	853	0.12	0.11	3.25	852.00	0.00	**
興味の月経や射精	853	0.11	0.10				
まじめな身体	848	0.11	0.12	1.53	847.00	0.13	n. s.
興味の身体	848	0.11	0.11				
まじめなマスターベーション	839	0.03	0.07	-7.60	838.00	0.00	***
興味のマスターベーション	839	0.04	0.08				
まじめな交際	858	0.18	0.16	1.41	857.00	0.16	n. s.
興味の交際	858	0.17	0.14				
まじめなメディアの性	843	0.06	0.09	-6.72	842.00	0.00	***
興味のメディアの性	843	0.07	0.09				

p<0.001***, p<0.01**, p<0.05*, p<0.1 †